

経営比較分析表（令和4年度決算）

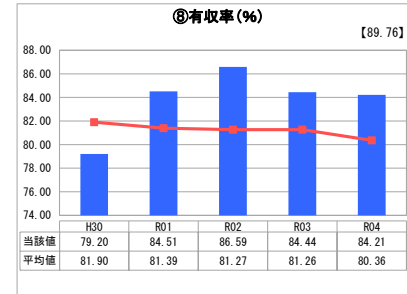
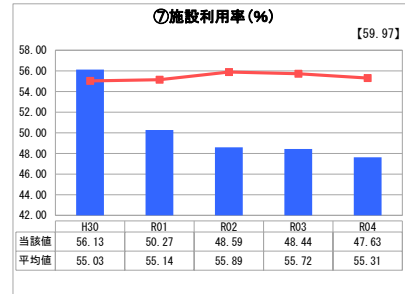
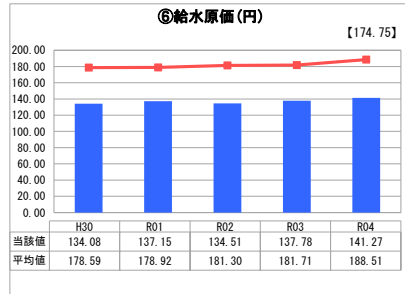
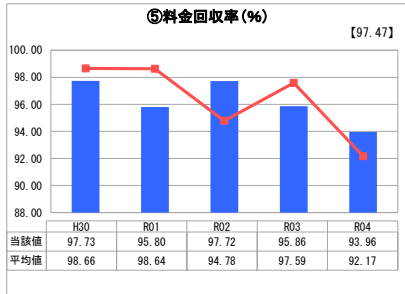
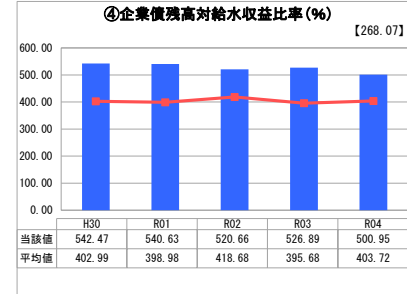
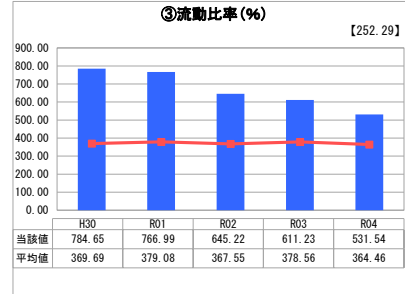
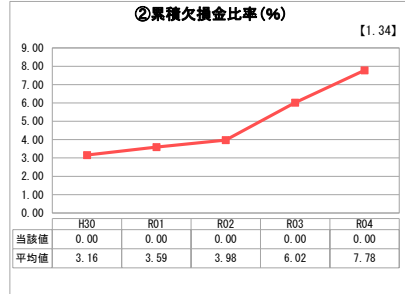
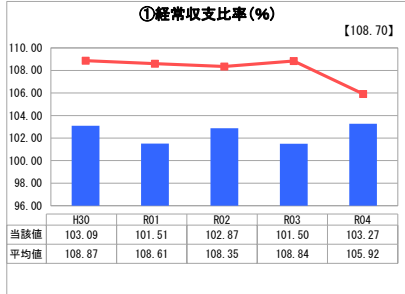
熊本県 長洲町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	60.09	98.76	2,349	

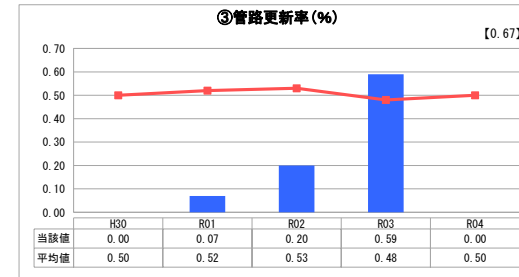
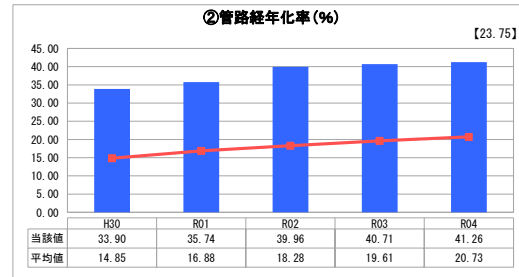
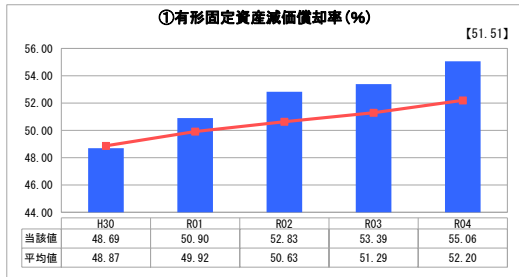
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,506	19.44	797.63
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,223	17.87	851.87

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超えています。全国平均及び類似団体平均値を下回っています。
 ②累積欠損金比率は0%であり、欠損金は発生していません。
 ③流動比率は、全国平均及び類似団体平均値を大幅に上回っており、十分な支払能力があります。
 ④企業債残高対給水収益比率は、全国平均及び類似団体平均値を大幅に上回っており、今後も計画的に更新事業を展開していく必要があります。
 ⑤料金回収率は、全国平均を下回っています。また、料金回収率が100%を下回っており、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを示しています。
 ⑥給水原価は、全国平均及び類似団体平均値を下回っていますが、原油価格・物価高騰の影響により近年は上昇しています。
 ⑦施設利用率は、全国平均及び類似団体平均値を下回っており、給水人口が減少傾向にあることから、今後は水需要動向による施設規模の見直しを検討する必要があります。
 ⑧有収率は、全国平均を下回っており、引き続き漏水防止対策を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っており、水道施設の老朽化が進んでいることから計画的な施設更新を展開していく必要があります。
 ②管路経年化率は、全国平均及び類似団体平均値を上回っており、近年比率が上昇傾向にあるため、計画的に管路更新を展開していく必要があります。
 ③管路更新率は、全国平均及び類似団体平均値を下回っており、計画的に管路更新を展開していく必要があります。

全体総括

人口減少や節水機器の高性能化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による料金収入の減少が危惧される一方で、老朽化施設の更新や資材価格の高騰、激甚化する自然災害への対策経費などが見込まれ、経営環境はより一層厳しさを増すことが予想されます。
 将来にわたり、安心・安全な水道水を安定して供給していくためには、水道施設の適切な維持管理及び計画的な更新を実施するとともに、引き続き水道事業の経営健全化に努めていく必要があることから、長洲町水道事業経営戦略に基づいた事業運営に取り組んでいきます。